

あすなろ

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
http://oak47-02.web.infoseek.co.jp

東日本大震災の復興支援を、 全国民の力を結集して 支えて行きましょう！

職場や地域で、家族や親戚の方が被災したりいまだに
行方が分からない方がいます。どうやって励ましたら良
いのか言葉が見つかりませんが、現地の復旧・復興と合
わせて職場の仲間と一緒に支えて行きましょう。

雇用と生活・命を守る 社会的責任を今こそ発揮させよう

政府も企業も労働組合も

「国内経済がデフレから脱却し、回復軌道に乗せるには、賃金の引き上げが必要だ」と財界系のエコノミストからも主張される中の春闘でした。

期待された春闘

また沖電気では、この一〇数年来の賃金ファクト、現行の退職金が保証されない退職金給付制度の改定、1,000名を超す人員削減など犠牲を強いられてきた中で、生活改善や非

正規社員の待遇改善・正社員化など期待を背負ったものでした。

またしても逆提案

しかし、要求提出前に会社から「今期連結営業利益120億円を確保するためには、一定の一時金対策は避けられない」と、またしても減額の逆提案がされました。これはこれまで散々労使の信頼関係をないがしろにしてきたことをさらに逆にするものです。

2度目の産別 闘争からの離脱

これに対し労働組合は、反発するもの。「このまま電機の産別統一闘争で交渉をすすめた場合、その役割を果たせず、11闘争を根底から崩しかねないリスクがある」として「産別統一闘争離脱」を決めてしまいました。

結果と職場の声

結果は新たな原資を必要としない「賃金体系の維持」「一時金

大地震を理由にした対応に警戒を

大震災後、計画停電

東日本大地震 そのとき職場は？

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする地震が発生。マグニチュードは世界でも最大級の9.0を記録。凄まじい音ときしみ、自分の体が自由にならない。一瞬何が起きたのか？恐怖で足がすくんで動くことが出来ない。大きな揺れが止まっても、何の避難指示もなく各人が外へと逃げ出す事態となりました。



人命最優先の対応を！

緊急避難時の対応（避難指示・誘導・放送など）が組織だっで行われなかった。

* 指示系統が機能せず、毎年実施している緊急時避難訓練が活かされていない。

* 余震が続いているのに、職場に戻して、そこでまた危険を感じた人が自己判断で屋外に避難するなど。

* 職場内に知らせる放送が聞き取れないこと。設備の改善が必要です。

職場の環境が地震時危険な状況にあること。

* 生産工場は基本的に立ち作業であり、かさ上げた机や作業机は簡易パイプ製で強度がなく一時的にも安全を確保するものがないこと。

建物の安全 公的機関に耐震調査と安全点検を依頼して公表すべきではないでしょうか。（本庄事業所勤務 Mさん）



電機連合大手組合の回答状況

組合名	賃金体系維持	開発・設計賃金30歳	一時金回答
パナソニック労連		329,300	業績連動算定方式
東芝連合		310,300	業績連動算定方式
日立連合		309,500	1,586,820 (5.3ヶ月)
NEC連合		320,500	業績連動算定方式
三菱電機労連		310,500	1,616,000 (5.74ヶ月)
シャープ労連		311,200	1,301,844 (4.0ヶ月+連動)
三洋電機労連		311,000	業績連動算定方式
富士電機連合		318,700	1,358,065 (4.42ヶ月)
パイオニア労連		284,390	業績連動算定方式
沖電気		300,100	1,141,000 (3.5ヶ月)

間3・5ヶ月」等に終わり、生活改善や長時間労働の是正・非正規労働者の正社員化や待遇改善は見送られました。職場からは「10年度は全ての臍みをだし、健全な企業になるのことがあったので、期待したが外れた」「一時金3・5ヶ月といいながら、前年みたいに経営の状況でまた約束が破られるのではないか」「年休を取りやすくするために、長期連休確保にこだわりを持って欲しかった」などの声が出されています。

を理由に勤務時間・休日の変更・夜勤への変更などが行われています。不規則な勤務に加え、余震や原発事故の影響などで、労働者の心身にわたる負荷が懸念されています。更に「地震による経営の不透明感・影響」を理由に、コスト削減で労働条件の引き下げや更なる人員削減などにも警戒をしなければなりません。



テレビのニュースからは、悲惨な画像が毎日送られてきます。千年に一度とも言われている大地震が東北地方を襲い津波そして原発事故を引き起こしました。

津波で多くの尊い命が奪われましたが、避難所でも体調を崩して亡くなる人も増えてきています。放射能による食物や水の汚染が報じられる中、多くの農業や畜産に携わっている方たちにも被害は広がり、買占めなどパニックが収まりません。被災地の皆さんが大変な苦勞をしている時に石原都知事の「天罰」発言は人としてあるまじき発言で謝罪したからと許されるものではありません。余震が続く中、子供達のことが大変心配です。先日のニュースでは小さい揺れでも「地震が来るよ地震が来るよ」と言って荷物をリュックサックに詰める子供がいると報じていました。見ていると涙が出てきます。今後の生活を考えてと展望が見出せない方が多いと思います。国と東電の対応の悪さには怒りがわきます。しかし多くの人が支援に立ち上がっています。募金や物資を送り続けたいです。一日も早く立ち直りますようにしたいと願っています。被災者で欲しい。私達はギリギリのところでやっています。言われるか、言われる痛く、胸が痛く、言っています。と、言っています。

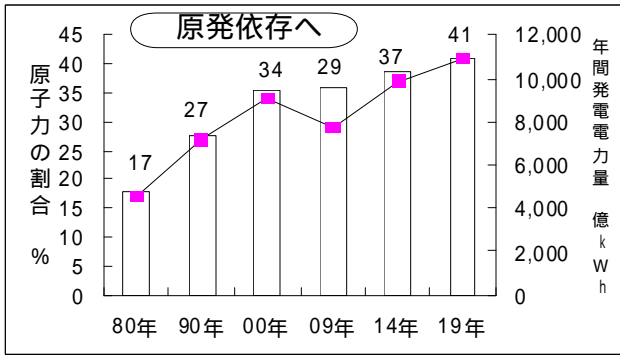


安全神話崩壊 原子力発電がこんなことになるなんて

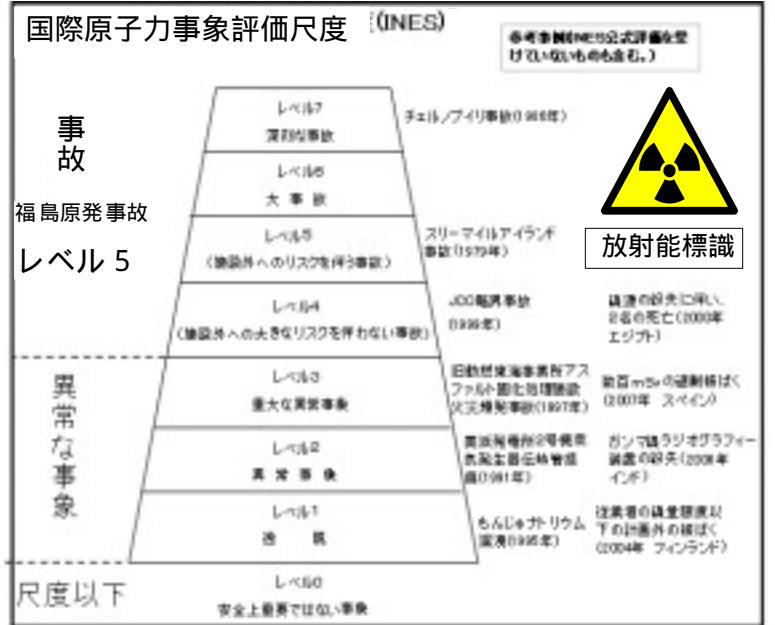
**福島第一原発で
レベル5（暫定）の事故**

割合%	原子力	石油等	石炭	天然ガス	水力	地熱他
80年	17	46	5	15	17	0
09年	29	7	25	29	8	1

日本の電源別発電量の実績および計画（エネルギー・経済統計要覧）



どんな津波や地震も大丈夫と推進
東日本大震災は東北地方太平洋沿岸の街を破壊し、死者・行方不明者2万7千人超の大惨事になった。「根拠のない安全を謳っていた原発」の危うさも露呈させました。



エネルギー政策の見直しが必要
効率重視の石油などの化石燃料や原子力依存の政策から太陽光や風力などの自然エネルギーの開発・利用への転換が必要です。福島原発は使用済み核燃料の保管も安全でない事を示した。警鐘を鳴らさせ。

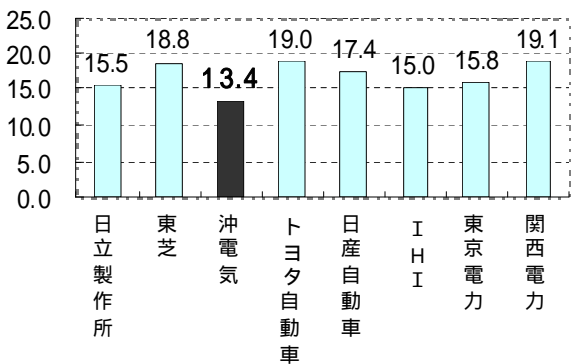
有給休暇取得 人員削減の連続で取得低迷

「沖電気を考える」 第42回

付与23日 取得率58%、切捨て日数9.8日 (09年度・沖電気労組員)

世界の平均より長時間労働の日本は、年休取得率も悪い。10年8月のロイター社などの世界24カ国調査で日本は完全取得率33%で最下位。政府は改善のための数値目標を17年度「完全取得」としている。

有給休暇取得実績 日/09年



沖電気の平均取得日数は過去10年間の平均が12.8日。



放射能標識

いかにして日本に原発が導入されたのか? NHKの過去の番組を紹介します。

原発導入のシナリオ ~ 冷戦下の対日原子力戦略 ~

<http://g2o.cocolog-nifty.com/blog/2009/04/post-b5b1.html>

日本はアメリカ、フランスに次ぐ世界第3位の原子力大国で17カ所54基が営業。世界全体では30カ国・432基が営業している。イタリアはゼロ、アメリカは30年間新規はゼロ。

社内報は抽選番号付き なくさずに保管を

【多摩エレクトロニクス】沖電気が分業・独立した会社の社内報「News ペーパー」には配布時に5ケタの抽選番号が刻印されます。内容は、1等(下3ケタ)商品券1万円、2等(下3ケタ)クオカード5千円、3等(下2ケタ)クオカード3千円、8本、4等(下2ケタ)グルメカードノクオカード千円、16本。当選番号が次号に記載されるので社内報の保管が必要で、嬉しい企画ですね。

連絡手段の重要性

【東京 芝浦】今回の震災では、直接的な被害は帰宅難民となり、家族との連絡手段がなくなり安否確認ができなくなりました。しかし、こちらでは被害が少なく、翌日まで待てば何と

かになったが、これが被災地だったらと思うと緊急時の連絡手段の重要性を再確認した。友人は、「私も電車が止まったので会社で一泊し、昨日の昼頃に自宅に戻りました。自宅の被害は今のところありません。幸い、長男は学校が休みで自宅にいたので、帰宅難民にならずに済みました。(長男の登校日だったらと思うと、家族間の連絡方法を決めて練習しておく必要がありましたね)」と連絡がありました。早めに電話会社の伝言板の利用を考えなければならぬと思いました。



人員削減 過重労働が心配です。

【OKIソフトウェア】昨年12月からの希望退職で人員の余剰感がない中で1割以上(2百人超)も減員した職場は、一層の労働負担と賃金減に繋がる施策が心配されています。労組の「営業を増やす必要があるのではないか」の質問に会社の回答は「今の陣容で頑張ってもらおう」。北海道から九州まで職場があります。転居が伴うかどうかを基本にした限定勤務地制度の見直しで賃金などの変更。

計画停電で通勤に負担

【群馬・富岡】被災者の方々の苦勞に比べとささいな問題であります

が、計画停電に関する負担が増えています。群馬では、もともと車通勤が多いのですが、電車では、計画停電に操業を合わせると、通勤がさらに困難になるため乗り合いにするとか、自動車に通勤方法を変えるとき、またかなりの長い通勤時間になっている人もいます。一時的ではありましたが通勤車の給油が困難でした。就業時間と計画停電が重なると、帰宅が難しくなったり、信号が停電の時の交差点は危険が増すためかなり緊張したりします。また、七時始まりの勤務の時には、始発電車に乗らなければならぬため五時起きの時もありました。

地震が教えた 作業環境の改善

【埼玉・本庄】3月11日午後2時26分。いつもと違うゆれに、緊張が走る。身を隠す場所を探して、視線が作業場所を走る。身を守るところは無い!! その場に立ったまま様子を見るしかなかった。「外に逃げよう」更に揺れる。たまたま「逃げよう!!」の声に、周りの人が駆け出し、奥のほうからも数人が走って逃げてくる。「崩れるかと思った」「まだ足が震えている」「口々に恐怖を語る。天井からは金属の落下物もあつた。幸いけが人は出なかった。幸いだが、下に作業員が居たらと思うとぞっとする。今回の地震は、人命の保護を最優先にした職場環境になつてないことを証明しました。従業員手づくり製の立ち作業用軽パイプ作業台では「丈夫なテーブル、机などの下に身をかくして下さい」の初期避難は不可能でした。工場全体の職場環境の点検と改善が必要です。